

だい かい しょうわみらい かいぎ 第 10 回「昭和未来会議」について

1. 昭和未来会議とは？

(1) 開催概要

これまでのプログラムの概要と今後の予定は以下の通りです。参加者の状況や各話し合いの結果によっては適宜内容を変更します。これからは、これまでの話し合いをもとに、実際に昭和地区での活動を進めていければと考えています。ぜひご参加ください！

第1回 日時：6月4日（土）10～12p.m.

- レクチャー 地域福祉、地域福祉計画とは
- レクチャー 知立市と昭和地区の現状の共有
- ワーク 理想の昭和地区を考えよう！ワールドカフェ



昭和地区の「今」を知る、未来を描く

第2回 日時：7月2日 16：00～

- レクチャー 昭和地区で活動している事例の共有
- ワーク① 昭和地区の「理想の未来」「課題」を深めよう！「やりたいこと・やるべきこと」を考えてみよう！



昭和地区の魅力と課題を共有する

第3回 日時：8月6日 15：00～

- レクチャー 知立東小学校について
- ワーク 昭和地区で「やりたいこと」を具体的にしよう！



昭和地区でいまからできることを考える

第4～9回 日時：9月3日 15：00～
10月9日 15：00～
11月5日 16：00～
12月10日 19：00～
1月15日 16：00～
2月12日 16：00～



できることから実行する①～⑥

第10回 日時：3月12日 16：00～

- 今後の方向性の報告と、グループごとの話し合いの続き。

できることから実行する⑦



今後も、毎月実施予定です（具体的取り組みの実施へ！）

2. 本日の進め方

(1) テーマ

第 10 回目のテーマ：

「平成 29 年度の方向性について」

「各グループのテーマに応じた話し合い」

(2) 本日のメニュー

今回の第 10 回ワークショップは、今後の方向性について報告したうえで、第 9 回に引き続き、グループごとのテーマに応じて、次のステップに向けたワークショップを行います。

時間	配分	プログラム
16:00~16:30	30分	・昭和の活動報告 ・その他、情報共有事項
16:30~16:50	20分	これまでの昭和未来会議の振り返りと、平成 29 年度の方向性についての報告
16:50~17:00	10分	ワークショップの進め方について説明
17:00~17:40	40分	ワークショップ ※いつもより少し短くなります
17:40~18:00	15分	各グループの結果の共有

(3)これまでのまとめ

これまで、各グループの話し合いで意見として度々あがっていた「話し合いのメンバーが固定できないため、アイデアの実行に向けた話し合いが中々進まない」という課題が今回も参加者から上がっており、今後の方向性を検討しました。

「毎回は参加できずに、これまでのストーリーが共有できていない人もいる」ということで、まず、これまでのおさらいを行います。

～「これまでのおさらい」の概要～

まず第 1 回昭和未来会議では、「昭和地区の理想の未来」をテーマに意見交換を行い、昭和地区の「課題」と「理想の未来」を共有しました。次に、第 2 回・3 回昭和未来会議では、昭和地区をよりよくしていくために、「やってみたいこと」について意見を出し合いました。

これらの話し合いを通じて、「それぞれの生き方や経験をもとにした、様々な考え方や価値観があること」を知りました。一方で、「昭和地区の多くの皆さんが共通で考えている課題や理想の未来」も見えてきました。

▶ 昭和地区共通の理想の未来①：若者にとって魅力ある昭和に！

⇒ 若者の定住・移住が必要！ まず、在住の若者がいきいきと活躍、魅力を感じる昭和に！
若者の活躍を皆が歓迎・応援する気運も大事！

▶ 昭和地区共通の理想の未来②：みんなが安心して暮らす昭和に！

⇒ 高齢者も、外国籍住民も、子どもたちも！

今後は、この共通の理想の未来のために「やってみたいこと」について、話し合いを続けていくことになりました。また、この他に、「地域住民同士の情報共有」「行政や関係者との情報共有の場」としても効果を発揮し、地域だけで解決できないことは、それぞれの立場から創意工夫をしていくという考え方についても意見がまとめられました。

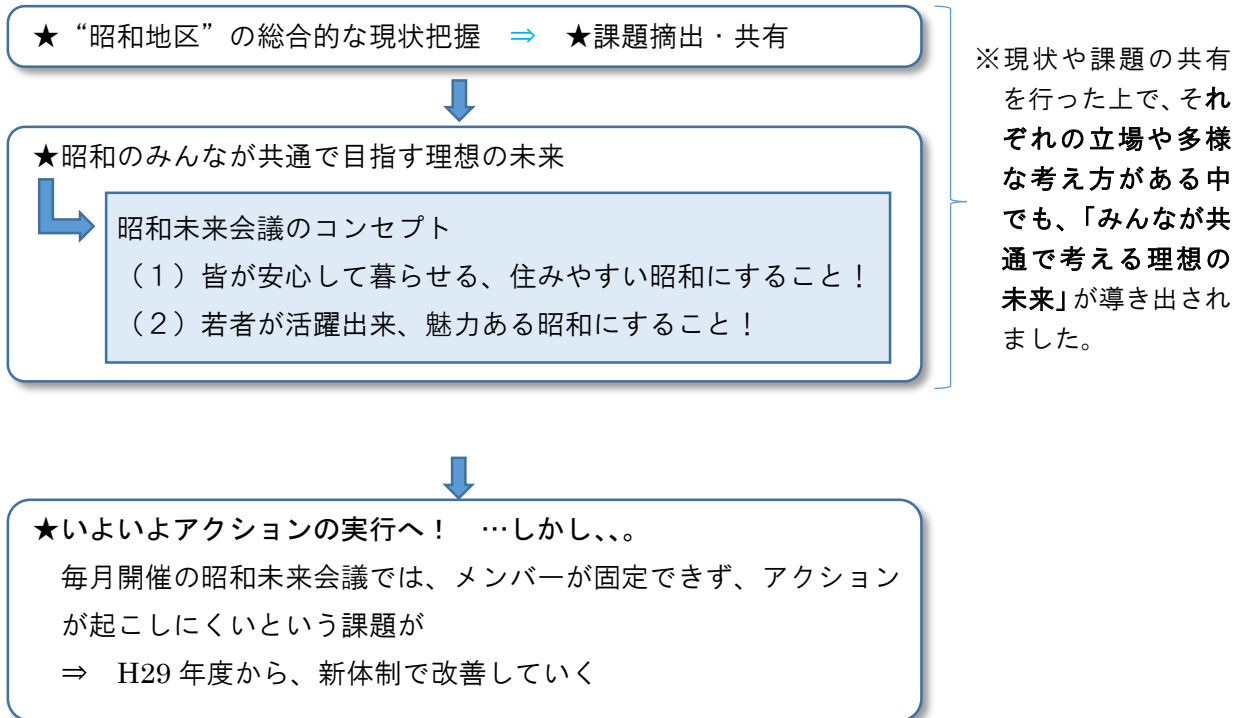
第 4 回以降、様々な立場や考え方の人達が合意形成していく難しさを実感しつつ、『やりたいこと』を具体的に、実行するための話し合いが続いています。

その中で、「話し合いのメンバーが固定できないため、アイデアの実行に向けた話し合いがなかなか進まない」という課題についてのご意見が、たびたびあげられるようになりました。また、第 9 回会議では、今後の会議の進め方を検討する必要があるという声もあがりました。

この件については、事務局で、3 月の昭和未来会議で、今後の進め方について皆さんへ報告することになりました。

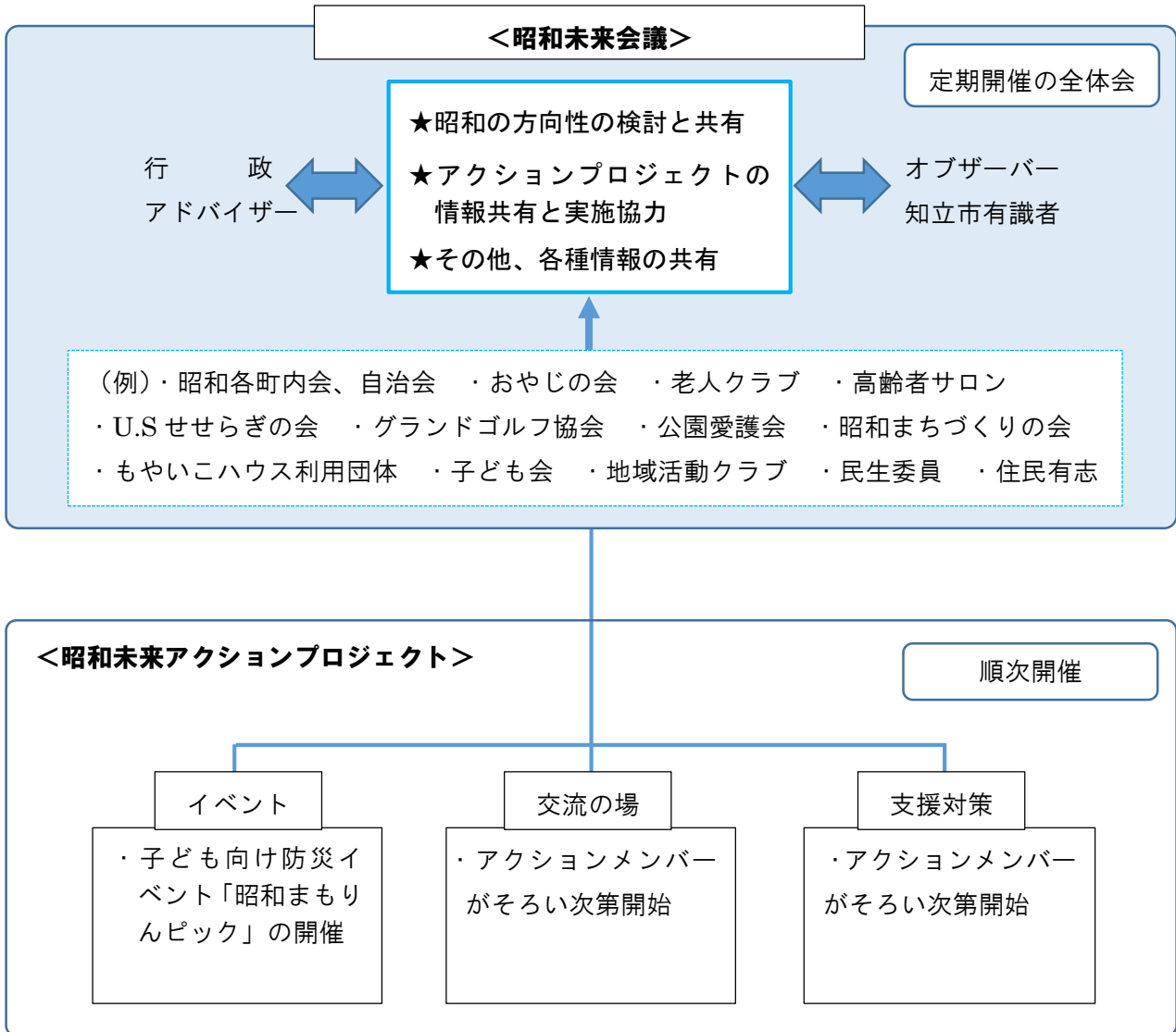
(4) 今後の方向性

《第 1 段階》平成 28 年 6 月より「昭和未来会議」開始！



《第 2 段階》平成 29 年 4 月以降スタート

★『昭和未来会議』の充実・拡大の為の「アクションプロジェクト」スタート！



(5) 本日のワークショップの進め方

では、今回も、グループごとにこれまでの展開をふまえた話し合いを続けます。
各グループの話し合いの概要は以下の通りです。

グループ①『交流促進①～イベント等で交流の機会を！～』

＜これまでのストーリー＞

◆イベントは、交流促進や地域に活気をもたらすきっかけとして効果的です。昭和未来会議でも、新しいイベントについての多くのアイデアがあげられました。

◆しかし、実際に新たなイベントを行うとなると、「人（中心的人物や協力者）、場所、資金、地区内の他のイベントとの兼ね合い」等の理由で、新しいイベントの開催は難しいというのが11月の昭和未来会議を終えての主な意見でした。

◆そこで、イベントグループの話し合いの節目として、既存イベントの情報整理をはじめました。
⇒12月の会議では、イベントの意義について改めて考え、視点を取りまとめました。その上で、2つの方向性が示されました。

①こちらは、3月の昭和未来会議で皆さんに報告できるように準備！

イベント情報の整理は事務局で引き継ぎ、その後、町内の関係者の皆さんに内容をご確認頂き修正した上で、様々な形で活用していくことになりました。

⇒既存イベントへの活性化。参加者、協力者の増加

⇒運営者が各イベントの情報を知ること、内容の磨き上げやイベントの存続に繋げる

⇒新規のイベントを考えたいという住民が出てきた際の参考とする

⇒定期的に情報を修正・更新し、昭和未来会議で管理、活用していく

②子ども向けの防災イベントをやってみようという、アイデアが出され、実現に向けて話し合いが行われました。まず、前回のおさらいも踏まえて、「イベントの意義」の再確認が行われました。その都度「イベントの意義」を再確認することで、会議が堂々巡りにならないよう、昭和の未来に向けて、各種活動が行われるようにしていこう、という願いが込められています。このアイデアを実現するために、個別でミーティングを開催することになりました。
(※内容は、次頁の第8・9回の意見まとめをご参照ください)

第8・9回の意見まとめ

※網掛け部分が第9回会議の意見

<p>さいがい たいけん ・(災害)体験イベント NEW!!</p> <p>こ む ・ ↑ 子ども向け!!!</p> <p>おとな やくわり 大人の役割も</p> <p>べつときかくしよ ・別途企画書をつくる</p> <p>どうどうめぐ (堂々巡りにならないよう に) その都度確認する</p>	<p>きぞん ぼうさいくねん べつ もの ・既存の防災訓練とは別の物で</p> <p>あそ ごころ たいせつ ・遊び心も大切</p> <p>じぜん ちく とくちょうだ ・事前の地区の特徴出し</p> <p>た だ しよく ・炊き出し⇔食</p> <p>ぜんかい さいがい ・前回のフェスの災害イベントは 12人×5=60人 + 親</p> <p>こ む もの ※子ども向けの物だけでなくすぐ実施 できる</p>	<p>りょうりん ・両輪! (「イベ ント」と「日々 の交流」)</p> <p>せつちやくざい ・接着剤として の防災イベン ト</p>
<p>じき ・→時期 ベストは??</p> <p>ぶんかじん ちいき たから ・リストづくり。文化人など地域の宝も</p> <p>ひがし こ ちいき たつじん まな ちいきこうりゆう ・東っ子カーニバル。地域の達人に学ぶ (地域交流)、2017.2.18 ★10:00~11:00</p> <p>★オコシモノ 加藤さん</p>		
<p>だれ 誰が</p>	<p>こてい ひつよう ・メンバーの固定も必要</p> <p>かい しょうわちく ・オヤジの会を昭和地区でサポート</p> <p>かい ・オヤジの会、キタジマさんがお声掛け</p> <p>わか せだい さんか かたち たけうち ていげん はんえい ・若い世代が参加しやすい形 ・竹内さん提言を反映</p> <p>さと れんけい ・いずれ…ほほえみの里とのも連携</p> <p>べつと うちあわ かいさい ・別途で打合せ開催</p>	

<p>きょうりよく 協 力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ママ かきつばた (子育てサークル) → 勉強会やっている。 転倒防止、リュックの準備 → 行政 ・ “みらい” の協力 ・ いずれ外国籍の方も (将来的に?) ・ (高橋さん) スクールガードも巻き込んでやってあげれば → どこに協力を求める? ・ 自衛隊にとってもよいPRの場に ・ 消防も関わってくれた → 興味がない。興味を持ってもらうことから → やりやすいアクション、しやすい形 ・ 学校周知でも巻き込む。夏休みに実施 参考：八ッ田小 夏休み学校 でキャンプ(希望者、防災も兼ねている)。竹を切って流しそうめん。校庭 でテント、東小でオヤジの会の防災イベント + 外国籍の方も 巻き込む → 東小でやれないか ・ 多文化共生プランでも外国子ども・防災で ⇔ 連携 ・ 町内会 → 関わって頂きやすいように上手に巻き込む 昭和の交流が目的なので、町内会も関わって頂くのが理想 先例がないので、難しい? ⇒ まずは任意で協力してもらえるところから
<p>じょうほうはっしん 情 報 発 信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録係重要 ・ 防災イベントもやるが、イベント情報整理も必要 ⇒ 皆で考えるものではない
<p>た そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6～9丁目が少ない ・ 東小、先生にもWSに入ってもらえばよい ・ 未来会議だから、未来を考える。5～10年先 ・ PRの機会。参加者少ない。いろいろやっているが・運営する人が集まらない ・ 企画書作っては? ・ 固定で話し合いを続けるメンバー → おやじの会に丸任せではなくて一緒にやる

<p>イベント の目的</p>	<p>・未来につながる！！</p>
	<p>→企画／堂々巡りにならないよう／多くの人に共感／多くの人協力</p>
	<p>・今までのイベントは個々で。皆が知っているものではない</p>
	<p>・目的がうやむやだと今までと同じ</p>
	<p>・災害時の昭和の位置づけは??</p>
	<p>↑イベントの目的・効果</p>
	<p>・子ども向けの意義を。楽しくやるためにも</p>
	<p>・まちへの意識の低さ ←防災への意識の低さ</p>
	<p>・子どものためになることを。大川小の例。想定外</p>
	<p>・このグループでの議論スタート</p>
<p>全体の位置づけ、このイベントの目的を明確にしてから</p>	
<p>・年度またぐ ⇒ 引き継ぎ！！ ・市で協力について確認</p>	
<p>・市の防災訓練 8月</p>	
<p>・夏休み、東小で防災イベント 消防、自衛隊、炊き出し、子ども向け</p>	
<p>楽しさも</p>	
<p>・既存の防災訓練は、ブースはいろいろあるが、子ども向けはほとんどない</p>	
<p>・大浜さん次回も！区長終わっても！！おやじの会だから</p>	
<p>・市防災訓練地区のやつ。校庭は空いている</p>	
<p>・自分の命を守るため</p>	

グループ②『支援が必要な方に対してできるコト』

＜これまでのストーリー＞

◆ここ数回話題となっている「認知症対策」。高齢化が著しい昭和地区でも重要な対策の一つとなります。

◆これまでの会議の中でも、認知症対策についてのアイデアが幾つかあげられてきました。今後も様々な高齢者対策が必要となりますが、昭和未来会議では、まず、はじめに認知症について考える機会について検討していけないか考えていただくことにしました。

◆第 8 回目以降の会議では、行政や社会福祉協議会と相談しながら、具体的に昭和地区で認知症対策の取り組みが行えるよう、事前に事務局が準備した実施イメージをもとに検討を進めました。

⇒ 実施イメージは次頁、会議意見については、次々頁をご参照下さい。

(今後について)

- ◆まず、昭和未来会議の参加者を中心にプレ体験ができるよう、日程の調整を行います。
(または、2月25日(土)にプラザ昭和(ほほえみの里)で行われる「認知症サポーター養成講座」に参加してみます。)
- ◆「劇団」のアイデア等についても、実現可能な時期や内容について検討を続けます。

その他...

- ◆地域全体への取り組みの周知や、意見交換、連携推進のため、「昭和区長会議」等の協議の場づくりを検討します。

<p>支援グループ</p>	<p>☆まず、 「三認知症サポーター養成講座」を開催</p> <p>●場所の候補：老人憩いの家 ほほえみの里 知立団地集会所</p> <p>●日程：未来会議とは別の土日で、老人クラブの活動日程も踏まえ</p> <p>●参加者：未来会議参加者、関心のある地域の人々</p> <p>●内容 ・「三認知症サポーター養成講座」のダイジェスト版 ・地域の方々と意見交換会</p>	<p>今年度（平成28年度）</p> <p>●活動の目的 ・講座を聞くだけでなく、地域で話し合うことが大事 ・地域の人が知り合う場、顔を合わせる場にもなれば ・目的は認知症のことを理解している住民が地域にたくさんいる状況をつくること。高齢化の進む昭和地区では特に。（認知症サポーターになったら定期的なボランティア等で今後の活動で負担が生まれる、というものではない） ・認知症に限らず、色々な関心事について勉強できる場づくり ・支援等に取り組んでいる人達の情報共有の場</p> <p>●反省会の実施 ・近所の人の接し方わからない ・どのような話が聞きたいか</p>	<p>●来年度以降の展開 ・反省会の意見を踏まえ、内容を盛り上げる ・昭和地区全体で認知症サポーター養成講座を開催 ・未来会議のメンバーも有志が協力</p> <p>●将来的には ・昭和地区オジジナルの認知症サポーター養成講座に発展 ・交流の機会も併せ持った催し ・認知症への理解が深い住民が増え、高齢者が安心して暮らせる地域につながる</p> <p>●車小の子ども達との連携も検討 ●外国人向けのメニューにも発展</p> <p>●ロールプレイ ●体験のお話 ●経験を語る</p>	<p>来年度以降（平成29年度～）</p>
---------------	--	---	---	-----------------------

第8回の昭和未来会議用の案です、認知症サポーター養成講座の体験版の開催日程や内容について話し合いつつ、可能であれば「劇団」についてもお話を進めよう、というものでした。

第8・9回の意見まとめ

※網掛け部分が第9回会議の意見

<p>参加者も増やすきっかけは？</p> <p>地域での子育て支援を行う(若い人を歓迎する。NPO で実施。)</p> <p>生涯学習を通じて団地の内外がつながっている。これを活かす</p> <p>グランドゴルフ昭和支部は週2回、多くの人が集まっている。(役員の担い手は不足している)</p> <p>回覧板を回すだけでは、参加者が集まらず、声掛けで集まる</p> <p>認知症の予防の話をした方が良い</p> <p>支援の関わり方。予防</p> <p>予防の知識を得ること</p> <p>連携して事業を行ったり、課題の共有や意見交換のため、「昭和区長会議」のような協議の場を設置したい</p> <p>一緒になってやれる場合と、町内によって実情が違い 難しい場合もある</p> <p>2月25日(土)13時30分～プラザ昭和で実施の認知症サポーター養成講座に行ってみてもいい</p>	<p>昭和の施設の利用。多目的であってもよい。有効活用することが大切</p> <p>既存組織活性化</p> <p>おしゃべり昼食会集会場で月1回。月3回20～〇時。参加者の出席を気に掛けている</p> <p>講座(公的)から自主講座(自主G)へ</p> <p>サークル活動への行政助成方法の検討</p> <p>集う場所(居場所)が多くあること</p> <p>運営リーダーがいない</p> <p>情報(集まり)を地域全体が共有できるか？</p> <p>カラオケ週1回、手芸(もやいこで週1回)いろいろな方が興味を持てるとよい</p> <p>生涯学習</p> <p>集まり 40数人、平均80歳、月1回、古典講座</p> <p>サポーターになってもらなかなか認知症の方と接する機会がない</p> <p>家に閉じこもらないようにする</p>
--	---

グループ③『日頃の交流の場』

<これまでのストーリー>

◆話がなかなか進まない所以对象を絞って議論してはどうか、というご提案があり、子ども、高齢者の視点で意見交換を進めるように準備しました。



◆まずは、新規のアイデアよりも、既存の活動を中心に検討していこう。ということで、話し合いがはじまりました。



◆「グランドゴルフ」、「畑づくり」、「東小のせせらぎの会とのつながりの検討」、「“みらい”の活動とのつながり」などが、検討内容としてあげられています。



◆引き続き、既存活動から広げる候補について検討し、まず、最初に手掛けてみる活動を絞り、具体的なアクションに向けて話し合いを進めていきます。



◆このグループには初めて参加するという方を中心に話し合いが行われました。新しい視点からの意見があげられています。

(アイデアの詳細は次頁をご参照下さい)

※「農園」「グランドゴルフ」等これまでの意見については、関係者の揃う機会に改めて意見交換を行います。

第8・9回の意見まとめ

※網かけ部分が第9回の意見

	既存の活動	今後の取組み	その他
子ども	・“みらい”	・英語を話せる人がいるとい い	・外国人 →学用品に 困っている →バザ ーをやるとたくさん きそう！！
	・拠点か狭い		・外国籍の人も日本の 人と話をしたい！と いう人がいる
	・東小 せせらぎの 会		
	・東 っ子カーニバル (イベント) 地域の 人と子ども達遊ぶ		
		・外国の人とも関わられるよう に	
	・歴史研究会 (知立 全体) 三丁目の人が先生		
	・パルケ	・大人と子どもが遊ぶような 一月に1日できれば	
	・縄跳びが盛り上がった	・オヤジの会の人に協力を お願いしている	
	・現在10人くらいで 運営。20歳代～高齢 の方まで	・遊休農地はある	
	・いろいろな遊びがそ の場で生まれた	・一月に1回話し合うことを している	
・一月に1回やれば	・学校、幼稚園、保育園に呼 び掛け		
・畑作り 新規 ※参考 刈谷			
・毎日行かなくてはい けない？ (収穫期)			
高年齢者	・グランドゴルフ	・ママともコミュニケーション	・プレイパーク。遊具を 運んで3～4人でやっ ている

	きぞん かつどう 既存の活動	こんご とりく 今後の取組み	た その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ↑ 外国人がグラントを荒らしたりしている？ マナーのことも… 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 親同士の交流が生まれるといい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノコギリとかトンカチとかを使う（風船、水鉄砲）
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラジルとの文化の違いを伝える、共有することが大切 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ体操 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ体操から交流が広がるといい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知立団地はフレンドリー
	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラオケの会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お母さん世代（時間のある人）が、交流できれば 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣との関係や利便性がいい
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和ウォーキングの会 三丁目の人中心 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の歌を勉強する会（カラオケ） 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ カラオケの会。外国人の人 も知っている曲でできれば… 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ もやいこのとなりを地域の拠点に → 夜のボランティアがいたら… 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ← 国際交流がメインの目的